未来社会創造事業　探索加速型探索研究
事後評価結果

１．　領域

「地球規模課題である低炭素社会の実現」領域

２．　重点公募テーマ

「ゲームチェンジングテクノロジー」による低炭素社会の実現

３．　研究開発課題名

空気を肥料とする窒素固定植物の創出

４．　研究開発代表者名（機関名・役職は評価時点）

藤田　祐一（名古屋大学　大学院生命農学研究科　教授）

５．　評価結果

光合成生物への窒素固定能力の付与は競争が激しく、国際的にも注目されている。難易度も極めて高いこのテーマに、我が国を代表して果敢に挑戦しようという意気込みに期待して本課題は推進された。最重要ポイントである窒素固定能のないシアノバクテリアへの窒素固定能付与の実現が期待出来る結果が示され、重要な成果の芽が出ていると評価された。

以上から、ステージゲート通過とはならなかったものの、今後、窒素固定成功の鍵が呼吸活性上昇による細胞内酸素濃度低下によるものであるとの理論構築がなされるならば、数多くの新規窒素固定能法の中でもブレークスルーになる可能性があり、進展を期待する。

以上